

読書のすすめ

～家庭と学校で育む「読む力」～

保護者の皆様、いつも本校の教育活動へのご理解とご協力をありがとうございます。

約170年前、黒船で日本を訪れたペリーが驚いたことの中に、日本の人々が子どもから大人まで、日常的に本を読んでいたことがあったといわれています。

当時は「貸本屋」があり、人々は本を借りて読み、物語や学問を楽しんでいました。こうした「日常の中で読書を楽しむ文化」は、子どもたちの読む力を育むことにもつながっていたのかもしれません。

本校でも、音読や読解問題など、様々な学習活動を通して、「読む力」を育てていきます。ご家庭でも、ぜひ身近に本がある環境をつくっていただければと思います。子ども自身が「おもしろそう」と思った本を選んだり、読んだ本について「どこがおもしろかった？」などと気軽に話したりすることも、読書を楽しむきっかけになります。

また、学校図書館を積極的に利用するように促したり、地域の図書館を家族で利用したりするなど、子どもたちが本に触れる機会を増やしていただければ幸いです。

学校と家庭と一緒に、子どもたちの豊かな「読む力」を育んでいきましょう。



子どもたちの読解力の向上について協議する本校教職員の様子